

2017年11月30日（木）～12月17日（日）東京都渋谷区（PLACE）by methodにて

佐々木新 二作目となる小説刊行記念

小説個展『わたしたちと森の物語』

言葉とビジュアルで小説を体感するエキシビジョン

レセプションパーティー：12月8日（金）19:00～21:00



methodが運営するギャラリー「（PLACE）by method（プレイスパイメソッド）」では、2017年11月30日（木）～12月17日（日）、クリエイティブスタジオ HITSFAMILY（ヒッツファミリー）を主宰し、作家としても活動する佐々木新（ささきあらた）の二作目となる小説「わたしたちと森の物語」（“英語表記: FOREST AND OUR STORY”）の刊行を記念した小説個展を開催いたします。

小説「わたしたちと森の物語」は、処女作「わたしとあなたの物語」の並行世界という位置付けで、幼少期特有の残酷な“奪う、奪われる”という関係性を経て、贖罪を為そうとする男女の物語です。何らかの要因によって心の一部に傷を負い、欠損してしまった場合、私たちはどのようにその穴を埋めるのでしょうか。本作のテーマである「森」とは心理学でいうところの深層心理や無意識の象徴であり、傷を癒す為に必要な領域と見做されています。自己に隠された無意識の領域に向き合い、意識化していくことで私たちは少しだけ前進することができるかもしれません。

本展では、小説「わたしたちと森の物語」を、デザイナー 熊谷彰博は“階層・欠損”と解釈し、佐々木が小説から抜粋した13の言葉をこの解釈をもとに展示作品へ共に顕在化しました。また、会場内では、書籍の先行販売も行います。

佐々木新 小説個展『わたしたちと森の物語』展示概要

タイトル	ARATA SASAKI NOVEL EXHIBITION “FOREST AND OUR STORY”
会期	2017年11月30日（木）～12月17日（日）12:00 - 19:00 *最終日以外の日曜日は閉廊
会場	（PLACE）by method 〒150-0011 東京都渋谷区東1-3-1 カミニート#14
アートワーク	熊谷彰博（ http://alekole.jp ）
ドローイング	黒澤潔
販売物	書籍、展示作品

レセプションパーティー 2017年12月8日（金）19:00 - 21:00

著者プロフィール

佐々木新 Arata Sasaki / 作家。岩手県盛岡市生まれ。デザインスタジオ「HITSFAMILY」にてクリエイティブディレクションを手がける傍ら、2013年から散文を書き始める。また、2015年から心理学を学び、心を問題とした視覚表現と言語表現の間で、新たな表現を研究し始める。2016年、処女作である「月」と「湖」を収めた小説「わたしとあなたの物語」を発表。小説という媒体だけでなく心を問題とした視覚表現と言語表現の間で、展示としても表現を試みている。

書籍概要

タイトル	『わたしたちと森の物語』
著者	佐々木新
発行者	佐々木新
発行所	HITSFAMILY LLP 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-16-22 #305
アートディレクション	河田孝志 (HITSFAMILY)
デザイン	佐々木新 (HITSFAMILY)
ドローイング	黒澤潔

HITSFAMILY

“血液”のように、社会という器の中で人と人を繋ぎ循環させ、社会変革を促すクリエイティブスタジオ。グラフィックデザインをベースにウェブ、スペース、プロダクトまで立体的にデザインを構築する「KOTENHITS」と、クリエイターと社会の関わりを探求するウェブマガジン「HITSPAPER」を中心に、デザインだけではなく、アーティストマネジメント、PR、などクライアントの創造的な活動を多面的にサポートし、新しい価値観を提供しています。

熊谷彰博 (アートワーク)

デザイナー / ディレクター。物事の関係性や仕組みを探求し、独自の視点と考察からリサーチ・コンセプトメイキング・プランニングをはじめとした統合的なデザインとディレクションを手掛けている。主な仕事に、無印良品 池袋西武 企画展「STOCK展」企画・監修・会場構成、「柳本浩市展」キュレーター、21_21 DESIGN SIGHT 企画展「雑貨展」コンセプトリサーチ、渋谷ヒカリエ Creative Lounge MOV「aiiima」アートディレクター、オリンパス純正カメラバッグ「CBG-2」プロダクトデザインなど。編書に、『STOCK』（MUJI BOOKS、2017）。

Artist Statement

この作品のテーマを設定するにあたり、まず前作の「わたしとあなたの物語」を読み返し、その特徴をよく現している「月」のイエローと「湖」のブルーを文字通り、色として混ぜ合わせることから始めた。白いパレット上に発色豊かな輝く二色を置き、ゆっくり混ぜ合わせると、それは鮮やかなグリーンへと今にも変容を遂げようとしていた。しかし、その瞬間、手を止めた。パレット上の色はまだ全てが溶け合っていないで、様々なグリーンが偏在していた。それから何度か、イエローとブルーの配分を変えたが、それらは決して同じグリーンにはならなかった。当たり前のように、グリーンとひと括りでも、実に多様な色が混ざりあっている。それらのグリーンはあたかも樹々が幾層にも重なった森に見えた。

その時は漠然と森のようだ、と思ったのものだが、小説のモチーフとしてそれがふさわしいものであることに気づくまでさほど時間を要さなかった。幼少期の頃から、森に囲まれた環境で育ち、子供ながらに森の持つ、相反するような穏やかさと恐ろしさに抗いがたい粗野な魅力を僕は感じていたのだ。

森は、さまざまなものに喩えられる。深層心理、あるいは無意識の象徴として。僕たちが森について語る時、そこには未知なるものを始めから含有していると考えているようだ。そして、そう考える僕たち自身も内なる場所に森のようなものを所有しているのかもしれない。人間は自己の無意識の領域を暴き、知ることによって進化を遂げてきた生物である。客観性や理性を獲得できたのは、先人たちが自身の内にある未知に降りて行って、森の中を探索するように心の働きを解明してきたからだろう。

作品にひとつの固定した解釈を持たせたくはないが、物語を通じて無意識の森を彷徨い、あなたが何かを発見することができたのなら、僕は嬉しい。

—佐々木新

私と森の物語より抜粋



“わたしはあなたの喉をつぶして、あなたはわたしの耳を焼く。そうしたら足りないもの同志、ずっと一緒にいた。あなたの代わりにわたしは世界中の美しい言葉を話して、あなたはわたしの為に世界中の美しい音を聴く。とてもシンプルなことだった。

でも、あなたは一方的に奪って、何も失わず逃げた”

(『森』より抜粋)

“聡明な女性には必ず秘密の部屋がひとつはある。誰にも入れない。でも、本当に心を許した男性にだけ、部屋の鍵が渡される。お父さんも鍵を渡されたの、と僕は尋ねてみた。もちろん、とかれは言った。お母さんにも秘密の部屋があってね、いまでも私は鍵を預かっている。ジェリーフィッシュはそこで発見したんだよ。その部屋は夜になると重さのない月の光が落ちてね、その光が絵にかかると、生命を帯びてゆっくりとこの世界に抜け出してくる。半信半疑だった僕は父を見据えて、どこにそんな部屋があるの、と尋ねた。かれは目の覚めるような口笛を短く吹いた。ひゅう。”

(『森』より抜粋)

2017年 (PLACE) by method で開催された、小説個展「わたしとあなたの物語」の展示風景



Photo by Kenta Hasegawa

method

method | メソッド

デザイン、ファッション、アート、工芸、食など、一切のジャンルを問わず、より自由な見地から、あらゆる分野で産み出されるモノに対しての「潤滑油」としての役割を果たすべく、店づくりを中心に、日々、様々な仕事をてがげ、代表 山田遊のもと、ショップのバイイングやディレクションを手掛けています。

methodなりの視点や言葉、また、その結果としての行動と表現を介することで、モノの作り手や売り手、さらには受け手との狭間で媒介となり、良きモノが持続して作られ、また、より良きモノが新たに産み出されていく。

そんな状況が実現することを夢見て、まずは、身の周りから、現状を更新することに対して情熱を注ぎ、結果、より成熟した社会が成立していくことを、理想として掲げています。

山田遊 (バイヤー、監修者)

東京都出身。

南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method (メソッド) を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れるショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社 が発売される。各種コンペティションの審査員や、教育機関や産地などでの講義・講演など、多岐に渡り活動中。

活動内容一例

ショップディレクション、バイヤー、VMD業務

国立新美術館内ミュージアムショップ「SOUVENIR FROM TOKYO」

国内初のグッドデザイン賞受賞商品の常設型ショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」

職人技の工芸品からご当地食材まで三重を丸ごと楽しめるお店「糸びや商店」、etc.

イベント関連

燕三条地域の工場を開放するイベント「燕三条 工場の祭典」全体監修、etc.

プロダクト開発、監修

東京タワー オリジナルグッズ、etc.

贈呈品セレクト

APEC JAPAN 2010 (アジア太平洋経済協力会議)、IMF (国際通貨基金) ・WB (世界銀行) 年次総会 2012、etc.

methodが運営するギャラリースペース (PLACE) by method、CIRCLE

ファッションの展示会や受注会、クリエイターの展覧会会場として、活用いただいています。

貸し出し等につきましては、個別にお問い合わせ下さい。



General Contact : method inc. 150-0011東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号

Tel : 03-6427-9296

Fax : 03-6427-9297

mail : info@wearemethod.com

method Press Support : HOW INC.

Tel : 03-5414-6405

Fax : 03-5414-6406

mail : info@how-pr.co.jp